

ありがとう 乙宮小学校



令和5年3月をもって147年の歴史に幕を降ろす乙宮小学校。明治8年の開校から、地域の人たちとともに歩み、2000人以上の子どもたちが巣立っていきました。

学校最後の児童となった14人の子どもたちは、1年間、地域や学校について学びを深めてきました。地域とともに歩んだ学校の歴史を、子どもたちと一緒に振り返っていきます。

学校のあゆみ

- 明治 8 年 旧寺院修林寺に開校する
- 明治42年 火災で消失したため校舎を現在地に新築
乙宮尋常小学校と改称
- 大正 2 年 農業補習学校を併設する
- 大正14年 位之端地区の児童の通学開始
- 昭和16年 仁位村立乙宮国民学校と改称
- 昭和22年 仁位村立乙宮小学校と改称
仁位村立乙宮中学校を創設し、併設
- 昭和50年 豊玉町立乙宮小・中学校と改称
創立100周年
- 昭和51年 乙宮中学校が豊玉中学校に統合
- 昭和62年 現校舎新築落成
- 平成13年 変則複式学級始まる
- 平成16年 完全複式学級となる
- 令和 5 年 3月 4 日閉校式
3月31日閉校



海の神様の名が校名に

明治42年7月19日、乙宮尋常小学校が豊玉町曾地区に誕生しました。地域で大切にされていた「乙宮様」が祀られていた曾1番地に学校が建てられたことから校名に「乙宮」が入ることとなり、現在に至るまで「乙宮」の校名は地域の人たちに愛されてきました。



敷地内にある乙宮様

だいすきな乙宮小！



1年築城 英太郎くん

僕の大好きな乙宮小学校

閉校を迎えるにあたって、大好きな乙宮小のことをみんなで考え、好きなところを校内放送で発表しました。

おもいでをいっぱい
つくれるところ
とにかくあかなくて
げんきなところ
みんなノリが
いいところ
や
るって言ったら、
やりとげるところ

地域の人たちと一緒に作った学校

校区である、曾地区、千尋藻地区、位之端地区の地域の人たちは、様々な場面で学校活動を支えてきました。地域の自然を生かした活動を子どもたちに提供し、地域全体で子どもたちを育て、見守ってきました。



校区内の海を舞台にした「海体験」

おとみやいちご誕生！

校庭の花壇では、地域の人たちとイチゴを育てました。今年度はイチゴが大好きな1・2年生が苗づくりに挑戦。「おとみやいちご」として、閉校式の参加者に配る苗を作り上げました。



イチゴの実からとった種で育てた苗

大切に育てたイチゴの苗です。



1年北尾莉杏さん

147年の歴史と最後の1年間

最後の1年は特別な年

乙宮小学校最後の1年間、学校では一つ一つの行事が特別でした。コロナ禍で行事の実施が難しい中でしたが、最後の運動会には卒業生や地域の人たちなど約300人が参加するなど、最後の学校行事を大切に過ごしました。



みんなで踊った豊玉音頭



最後の餅つき大会

1年間の学校生活を授業で発表

閉校となる今年度、子どもたちはいろいろなことに挑戦しました。たった一人の2年生、原田悠愛さんは、運動会や町の文化まつりで踊りや歌を披露した経験を、タブレットでまとめました。乙宮小で過ごした1年間をたくさんの人に聞いてもらいたいと、日々練習しました。

乙宮小でたくさんの経験をしたよ！



2年原田悠愛さん



行事や体験の思い出を発表

乙宮っ子魂のルー

閉校を前に、様々な取り組みに挑戦してきた147年の歴史が育んできた「乙宮っ子魂」のル何事にも一生懸命に取り組む姿が魅力的な乙宮その源が見えてきました。学習の一部をご紹介します



校章に描かれた思いとは…

乙宮小学校の校章には、3枚の葉と波がデザインされています。葉は曾地区で盛んな農業を、波は千尋藻地区、位之端地区で盛んな漁業を表しています。

そのことを知った子どもたちは、地域の人たちに話を聞き、昔の暮らしや仕事に対する思いを調べることにしました。農業では、運動場の3倍ほどの畑を手作業していたことや、1日も休まず牛の世話をしなくてはならないこと、漁業では、対馬から遠く離れた海で魚を捕っていたことなどを知り、厳しい環境で働く中でも、やりがいを持つことの大切さを学び、そこから乙宮っ子の「あきらめない心」「助け合う心」があると感じました。



準備をしっかりとやることの大切さを学びました。

3年 須川 亮志くん



地域の人たちに聞き学びました



自分以上に育てているものを大切にすることの大切さを知ったよ！

3年 原田 世愛くん



昔は農業がとても盛んだったと初めて知ったよ！

4年 北尾 理旺くん



農業にはたくさんさんの手間があつてとても大変な仕事だなんて思ったよ！

4年 糸瀬 諒くん



農業や漁業にはとてもお金が必要なことにびっくり！

4年 原田 空翔くん



家族や地域のことを考えながら働いていることがすごい！

4年 原田 心桜さん

3月31日、乙宮小学校は、147年の歴史に幕を閉じますが、そこで学び育つ

ツを探りました!

14人の子どもたち。最後の締めくくりとして、
一ツを探る学習を行いました。元気な挨拶や、
っ子。学校の歴史や地域のことを知ること
します



運動会の伝統になった大漁旗やソーラン節

地域の人たちの学校への思いとは…

乙宮小学校の運動会では、グラウンドに飾られる大漁旗とソーラン節で使用
する法被がシンボルとなっていました。

大漁旗の始まりは35年ほど前、学校に「より活気を付けたい」という保護
者の思いから、地域の漁師1軒1軒を回って大漁旗を集め、飾られることとな
りました。ソーラン節は2000年ごろから行われるようになり、保護者や地
域の人たちが法被を1着1着手作りし、これまで使用されてきました。これら
のことを知った子どもたちは、親や地域の大人が、たくさんの愛情を注いで
くれていて、そのことが「仲間を大切に作る心」「元気を発信する心」につ
ながっていると感じました。



乙宮の子どもを守る地域の会を結成



乙宮っ子の伝統「元気な挨拶」
これからも続けていきます!

6年 原田 遙介くん



つらい仕事を、楽しみを見つけ
ながら続けていることがすごい!

4年 原田 悠靖くん



地域の人から愛されている
学校だと改めて感じました。

6年 築城 圭太くん



歴史を調べると、今とは
違うことにびっくりした!

6年 築城 芽依さん



地域を大切にしてくださった乙宮小。
僕も地域を大切にしたい!

6年 原田 壮悟くん

た人たちの中に生まれた乙宮っ子魂は、いつまでも心の中で生き続けます。